



国際理事

永田 賢司

Kenji Nagata

祝 辞

若葉の候、この良き日に第68回335-B地区の年次大会が多くの皆様の出席のもと、ご来賓をお迎えし盛大に開催されますことを心よりお祝い申し上げます。

今なお、コロナ禍の危機は続いています。しかし、人類は過去に同様の危機を幾度も乗り越えて現在に至っています。余り神経質にならず各々がまず出来る予防を実施していきたいと思います。ライオンズにとって出来る予防とは、感染者数の多い時期は、クラブ例会、委員会、特には会食を伴う会等を避ける工夫をしていただきたいと思います。種々いたる所に社会の目はあります。我々の行動それこそが奉仕団体ライオンズクラブの社会に対するリーダーたる指標となれば幸いです。そして、1日も早い収束を願って止みません。

今期のダグラス X. アレキサンダー国際会長のテーマは「われわれは奉仕する」であり奉仕を通じて地域社会とのつながりを重視され、同時に最後の年となるキャンペーン100の達成にも力を注ぐ決意であります。その目標となる人的奉仕LCIFの達成率は、現在の所日本が秀でていと聞いています。これもひとえに会員の皆様と、それに関係された方々のご努力の賜物であり頭の下がる思いでいっぱいです。

国際理事会の活動は、現在の状況下では、ウェブ会議が中心となり進められています。主な課題として、キャンペーン100の新捗状況とカナダのモントリオール次期国際大会の開催用式についてです。この文章をお読みいただく頃には、すでに決まっていると思います。出来うれば、通常通りの大会として決定していることを望むばかりです。

最後になりましたが第68回335-B地区年次大会が益々のご発展と会員各位のご健勝とご多幸を祈念の申し上げ挨拶とさせていただきます。本日は、誠におめでとうございました。